

令和6年5月8日(水)から実証運行を開始した「四谷ルート」「神田ルート」及び既存の4ルートを走行するすべてのバスに乗降人数を把握するための機器を設置し、利用状況の調査を行った。
また、EVバスについて、運転士、利用者それぞれから寄せられた声をまとめた。

1. バス乗降カウンターによる利用者数調査

【バス乗降人数】

新規ルートは、既存ルートの1便あたりの利用者数と比較し、運行開始から3か月間経過した現在でおおよそ半数程度の結果となっている。新規の2ルートでは、5月の実績から7月の実績を比較すると四谷ルートが87%増、神田ルートが100%増となっている。

調査期間:令和6年5月13日(月)から7月11日(木)まで
調査対象:全6ルート(新規2ルート、既存4ルート)

(1) 1便あたりの平均乗車人数

路線名	令和6年5月		令和6年6月		令和6年7月		合計/平均		備考
	人数	平均	人数	平均	人数	平均	人数	平均	
	便数	(人)	便数	(人)	便数	(人)	便数	(人)	
四谷	250	3.8	650	6.2	248	7.1	1,148	5.6	週5日運行(水曜日～日曜日) 1日あたり5便運行
	65		105		35		205		
神田	161	3.1	397	4.7	173	6.2	731	4.5	週5日運行(水曜日～日曜日) 1日あたり4便運行
	52		84		28		164		
麹町	2,369	10.7	4,919	14.3	2,105	16.3	9,393	13.5	毎日運行 1日あたり12便運行(月曜日～土曜日) 1日あたり9便運行(日曜日、祝日)
	222		345		129		696		
秋葉原	2,199	9.9	4,393	12.7	1,960	15.2	8,552	12.3	毎日運行 1日あたり11便運行(月曜日～土曜日) 1日あたり9便運行(日曜日、祝日)
	222		345		129		696		
内神田	1,597	7.8	3,163	9.9	1,393	11.7	6,153	9.6	毎日運行 1日あたり9便運行(日曜日、祝日)
	205		320		119		644		
富士見・神保町	1,801	8.8	3,605	11.3	1,529	12.8	6,935	10.8	
	205		320		119		644		

(2) 停留所別の乗降人数

◆四谷ルート

	停留所名	乗車	降車
1	千代田区役所(発)	441	
2	かがやきプラザ(九段坂病院)	81	4
3	九段上	27	6
4	九段さくら館	64	36
5	五味坂交番	51	46
6	一番町交差点	5	11
7	ジロール麹町入口(半蔵門駅)	12	28
8	麹町二丁目(四谷駅行)	31	27
9	麹町四丁目(四谷駅行)	20	47
10	麹町五丁目(四谷駅行)	11	40
11	四谷駅	185	105
12	麹町五丁目(区役所行)	15	1
13	麹町四丁目(区役所行)	38	36
14	麹町二丁目(区役所行)	69	50
15	五味坂	58	42
16	さくら館前	30	66
17	富士見あみず館	10	17
18	千代田区役所(着)		586
合計乗降者数		1,148	

◆神田ルート

	停留所名	乗車	降車
1	千代田区役所(発)	485	
2	毎日新聞	14	10
3	神田錦町三丁目	18	15
4	神田美土代町	4	5
5	神田公園出張所	16	20
6	須田町(秋葉原駅行き)	10	19
7	秋葉原駅中央口	61	107
8	和泉橋出張所	25	15
9	須田町(神田駅行き)	13	2
10	神田駅前	5	15
11	新日本橋駅	30	58
12	本石町四丁目	6	4
13	スポーツセンター	34	9
14	区営内神田住宅	10	7
15	千代田区役所(着)		445
合計乗降者数		731	

2. 風ぐるま利用者からのご意見

「風ぐるま利用状況アンケート」において、新規ルート及び EV バスに関して寄せられていたご意見(自由記載欄)について、次のとおり集約した。

(1) 新規ルート(四谷ルート、神田ルート)に関するご意見

- 日本橋付近に停留所が追加されているのが便利で良い。
- 麹町方面に行くルートが増えて使いやすくなった。
- スポーツセンター利用が便利になって、子供連れにも助かる。
- 日曜出勤の際に便利。
- ▲ 平日(月曜日、火曜日)に運行してほしい。土日は無くても良い。
- ▲ 本数が増えてくれると良い。
- ▲ 日比谷図書館、東京駅付近に停留所を設置してほしい。

(2) EV バスに関するご意見

- エンジンの音や振動が無く、静かで良い。
- ▲ 椅子が横向きではなく、正面に向いているため、狭く感じる。

3. 運行上の課題(運行事業者)

新規ルート及び EV バス導入に関して、運行上の課題として以下について、運行事業者より報告が挙げられている。

- (1) 日本製と比較し、ハンドルが切れる範囲に制限があり、小回りが利かない。
- (2) 既存の風ぐるまの車両と比較し、70cmほど車両が長い。
 - ➡ (1)、(2)の課題により、千代田区役所ロータリーへの進入時に前面道路に路上駐車がある場合、進入角度が非常に厳しく、ドライバーの運転精度が高く求められる。
- (3) 今後、EVバス導入を進める場合、新たに充電設備及び設置場所の確保が必要となる。
- (4) ディーゼル車と比較して、故障が多い。ドアや運転席周りの機材などが運行開始2か月で修理対応となっている。
- (5) EV バスは2ドアタイプの車両だが、既存の車両は1ドアであり、停留所も1ドアを想定した設置位置になっているため、停留所標識に合わせて停車するのではなく、ドア位置を考慮して停車する必要がある。